

B-68 木綿ミシン糸の防縮加工に関する研究  
(第1報)

成安女子短大 ○菅原はな子  
園田学園短大 高屋 正子

1. ミシン糸の洗たくによる収縮が, Wash and Wear, 防縮加工布の縫製部分の, しわを発生する重要な原因の一つであると考えられる。この縫糸の収縮を防止することは, 縫製上重要な問題である。ことに木綿ミシン糸の収縮防止については, いまだ解決されていないようなので, 油浴熱処理を行ない, 木綿ミシン糸の収縮防止について試験した。

2. 木綿ミシン糸の油浴熱処理はつぎのようにして行なった。すなわち, 油浴中に, あらかじめ糊抜きした木綿ミシン糸を,  $150^{\circ}\text{C}$ で5分間浸漬した後ソーピングを行ない, 熱水で数回洗浄して乾燥した。

改質綿布を用い, 数種類の縫い方について, 油浴熱処理木綿ミシン糸と, 蠟引き木綿ミシン糸, 糊付木綿ミシン糸の, しわ発生の状態を比較検討した。

3. 油浴熱処理木綿ミシン糸は, 洗たくによって殆んど収縮しない。

油浴熱処理木綿ミシン糸で縫製した場合は, 蠟引き及び糊付木綿ミシン糸で縫製した場合に比較して, 縫製部分のしわ発生が少なく, 洗たく後の効果も顕著である。